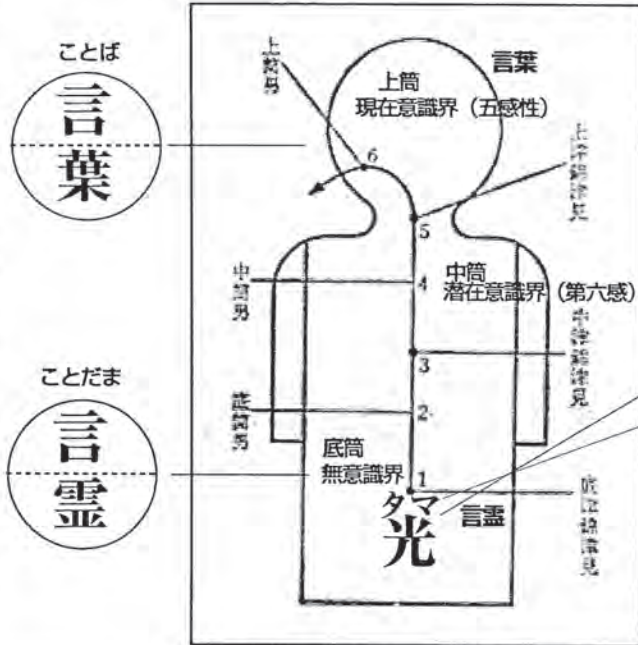




言霊の出し方の練習・・・

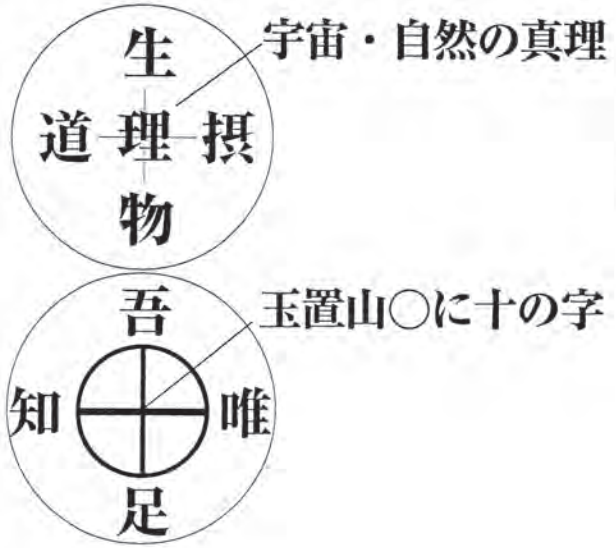


言霊の 伊吹きにのせて 描くなら
 うつす心は 三十一文字に
 うつされて 言葉に描く 靈魂の
 働き示す 心境を見ん
 我がうちに 秘めたるタマは 四魂なり
 タマ幸ひいて 神と結ぶし
 結ばれし 命とあらば 天地の
 無限の力 湧きいづるかな
 無限なる 力あづける 我が悟り
 岩戸と開きて 光源を知る

池端明志

- 鼻から吸った息を胸一杯にして、息を下腹部に詰めるように、グッとへそに固めると、へそに気が詰まり、反動的に詰まった気が上にこみ上がってくる。
- それを静かに長く、口をわずかに開いて、スーと吐き出す。
 (※フーと吐き出さないこと)
 (※息を吐くときは、必ずおしりの穴を閉める事)
- この息を十回位続けて繰り返す。
 ※できれば一回の息を一分くらいかけて吐き出すようにする。
- この息ができるようになれば、吐くときに喉を閉めないで、一語何も考えないで声を出す。
 ※下腹部に詰めた息がグッとこみ上げてくるのを、そのまま声にするが、一息に一語を出す。
 (※周囲をはばかりす！ 恥ずかしがらず！ 出るがママに大きな声で、どんな音でも良く、声を殺さない事) アー！カー！
- ◆神道の太祝詞 (ふとのりと) 強いバイブレーションを起こす。
- 以後：一息二語→一息三語→一息四語→一息五語
 ふと！出るに任せる (何も考えないこと・・・)

言霊とは生命の躍動から起こる言の葉や行動！



- (ま) 間
- 自然のリズム 和歌の5・7・5・7・7調にのせて・・・
 (人間・時間・空間・情報)
 - 思凝 (しこり) を取る
- 他人がわかる / 言ったことが当たる！ 段階 (世間の霊能者)
- 基本の一語 言葉になったモノ
- 一言主大神 + 八重言主大神 = 言代主大神